



2022年5月13日

各位

会社名 ポート株式会社
 代表者名 代表取締役社長 春日博文
 (コード番号: 7047 東証グロース・福証Q-Board)

問い合わせ先 執行役員兼 辻本 拓
 財務IR部長

TEL. 03-5937-6466

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年9月18日に公表しました中期経営計画について、現状の外部環境を鑑み、最終年度の2023年3月期計画を修正することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)計画の修正

(単位:百万円)

	2021年3月期			2022年3月期			2023年3月期		
	計画	実績※2	増減率(%)	計画	実績	増減率(%)	当初計画	修正計画	増減率(%)
売上収益	4,600	4,704	2.3	7,000 ~7,500	6,994	△6.7 ~△6.1	10,000	9,300	△7.0
EBITDA※1	0 ~100	188	- ~88.9	700 ~900	810	△10.0 ~15.8	2,000	1,500	△25.0
営業利益	△130 ~0	△66	-	550 ~700	599	△14.3 ~9.0	-	1,200	-
税引前利益	△100 ~0	△62	-	550 ~700	564	△19.3 ~2.7	-	1,100	-
当期利益	△75 ~0	△52	-	400 ~500	365	△26.9 ~△8.7	-	800	-
親会社の所有者に 帰属する 当期利益	△75 ~0	△52	-	400 ~500	332	△33.5 ~△16.9	-	700	-

※1 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用

※2 日本基準で作成した数値を記載しております。

2. 計画修正の理由

2020年9月18日に公表しました中期経営計画は、売上成長率35%以上、利益についても非常に高い成長を目指した計画ではありますが、1年目(2021年3月期)、2年目(2022年3月期)ともに、EBITDA、営業利益において計画を上回り、売上収益においても、ほぼ計画水準の推移となっております。

また、最終年度(2023年3月期)の計画達成に向けて、就職領域を中心とした既存領域の成長とともに、送客先拡大の為の積極的なアライアンス展開や、新たにエネルギー領域にも参入、M&Aを実施し、最終年度の売上収益100億円、EBITDA20億円の計画達成も視野に入ってきておりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の長期化が就職領域、カードローン領域に影響すること、またエネルギー領域において、ウクライナ情勢等に起因する資源価格高騰、電力卸価格の上昇等による、エネルギー領域の厳しい市場環境は、依然として不透明な状況で電力会社各社への影響等も大きく、外部環境の改善時期見通しについても保守的に見通す必要がある状況と判断いたしました。

中期経営計画策定時との差異としましては、策定時の想定よりも新型コロナウイルス感染症が長期化し、就職領域、カードローン領域での売上収益に影響があること（事業利益では当初計画数値を見込む）、リフォーム領域においてはM&A後のPMIが功を奏し、事業利益は大きく成長を見込んでおりますが、M&A直後に策定した中期経営計画の目標に対して大きく乖離していること、その差分以上を補える見込みであったエネルギー領域において、市場環境が厳しいことにより、エネルギー領域の売上収益が2022年3月期年間ベースから減収見込みとなることの影響が大きく、当初計画から業績予想数値として2023年3月期連結売上収益、EBITDAを修正いたしました。

なお、外部環境の大きな変化、不透明な状況を鑑み、各領域の計画を保守的に再精査し、現状においても達成可能な数値にて、今回の修正をしております。

2023年3月期計画の詳細につきましては、決算説明資料 p. 47～をご覧ください。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上